

日本語口頭発表部門・優秀賞



東京都下水道局
施設管理部排水設備課
金崎 隆宏

この度は、第 61 回下水道研究発表会日本語口頭発表部門において、「透析医療機関からの排水に由来する問題とその解決のための取組」の発表にて優秀賞を賜り、誠にありがとうございます。

東京都下水道局では、平成 29 年に発生した医療モールでの下水道管の損傷事故を受けて、都民のライフラインを守るため原因究明と早期解決に向けた取組に注力してきました。当初、透析排水は下水道施設への影響は小さいとの認識でしたが、透析装置の洗浄に強い酸を使用していることが判明し、また、23 区内全透析医療機関の下水道管の緊急調査によって、透析排水による損傷リスクが高いことが明らかになりました。そこで、早期解決のためには透析医療機関側に排水対策の必要性和医療の実態を踏まえた対策を講じる必要があると判断し、国・透析医学団体・医療装置メーカーなどと協力しながら透

析排水対策を進めました。影響力を持つ関係者に対して説明を続けることで透析排水対策の重要性が理解され、国交省・厚労省は全国自治体へ注意喚起の事務連絡を発出、透析医学団体はワーキンググループを結成し、業界独自の排水管理基準を作成、メーカーでは下水排除基準に適合する透析装置洗浄薬剤や省スペース型の中和装置が開発されました。

関係機関の取組と並行して、下水道局では個々の透析医療機関に対し中和装置の設置や基準適合薬剤などの対応を促す指導を継続するとともに、下水排除基準超過が認められた透析医療機関については行政文書を交付するなどの対応を行いました。このように下水道局と関係機関が緊密に連携し、医療の実情に応じた指導を実施したことが功を奏し、7 年間で 23 区内全ての透析医療機関で酸性排水対策が完了しました。

本事例の関係機関を巻き込み一体となった取組が、困難な課題を早期に解決させる一つの手法として参考にしていただければ幸いです。

最後に、本発表にあたりこのような賞をいただきましたのは、関係機関のご協力に加え東京都下水道局職員が一丸となって透析排水対策に取り組んだ結果であり、この場を借りて皆様に心より感謝申し上げます。

日本語口頭発表部門・優秀賞



東京都下水道局
施設管理部排水設備課
本郷 侃

この度は、第 61 回下水道研究発表会日本語発表部門において、「排水設備業務への DX 導入～お客さまの満足度向上～」と題した口頭発表の機会に恵まれ、さらに本発表に対して日本語口頭発表部門の優秀賞を賜ることとなり、驚きとともに大変光栄に感じております。誠にありがとうございます。

東京 23 区内における宅内排水管等（排水設備）の工事は、東京都指定排水設備工事事業者（以下「指定事業者」）が、施工することになっており、これら排水設備に関連する主な手続は 13 ございます。その全てが窓口受付であること、手続ごとに窓口が分かれていること、施工場所の区によって当該区を所管する下水道事務所へ開庁時間内に来所する必要があることなど、指定事業者にとって大きな負担になっておりました。

今回の排水設備業務の DX は、申請等に要する手

間暇の解消や受付期間・時間帯に起因する制約の撤廃により指定事業者の利便性を大幅に向上させるばかりでなく、東京都下水道局にとっても電子申請に伴う入力自動化や審査時間の短縮など劇的な事務改善につながる画期的なものでした。

導入に当たっては、導入までの期間を可能な限り短く、かつ導入後の状況変化に柔軟に対応し指定事業者が使いやすいシステムであることを意識しました。具体的には指定事業者の反応を確認しながら、一定水準のシステムを確保して順次改修していく手法をとりました。また、指定事業者に対しても本システムを利用していただけようリーフレットや事務所窓口において呼びかけを行いました。その結果、オンラインでの届出率は令和 5 年度末時点で約 6 割となりました。

本事例から、下水道関連のみならず行政手続きのオンライン化には『利用者目線に寄り添ったシステム整備』『利用者に向けた丁寧な周知』が必要になると考えております。本事例が、今後システムを導入する方の参考になれば幸いです。

最後になりますが、このような賞をいただきましたのは当局職員の日ごろからの取り組みの成果であります。本発表にご協力いただきました関係者の皆様にこの場を借りて心より御礼申し上げます、受賞コメントとさせていただきます。